

とりぎん

経済動向

鳥取県経済 6月の動き

概況

県内景況は、生産活動は一部業種に底入れ感が窺えるものの水準は依然として低く、雇用情勢や住宅着工、公共工事は一進一退の状況が続いている。個人消費は引き続き低調に推移しており、総じて見れば低水準で横ばいの状況にある。

生産活動では、鉱工業生産指数、出荷指数とともに前月比（季調済）は2ヶ月連続で上昇し、前年同月比（原指数）でも生産指数は3ヶ月ぶりに前年を上回った。個人消費では、自動車販売が4ヶ月ぶりに前年比プラスとなったものの、百貨店売上高は5ヶ月連続で減少し、スーパー（店舗調整後）も11ヶ月連続で前年を下回った。建設では、住宅着工戸数は再び前年割れとなり、公共工事の請負金額も2ヶ月連続で前年を下回った。

生産活動をみると、鉱工業生産指数（季調済）は、輸送機械や金属製品などが低下したものの、一般機械やパルプ・紙・紙加工品、電気機械などは上昇し、前月比2.9%上昇の74.2となった。出荷指数は、電気機械や一般機械などが上昇したが、食料品・たばこや輸送機械などが低下し、同1.3%低下の86.8となった。在庫指数も、パルプ・紙・紙加工品や木材・木製品などが上昇したが、電気機械や食料品・たばこなどが低下し、同5.4%上昇の68.8となった。

建設では、公共工事の請負金額は県で増加したが、独立行政法人等と市町村、国が減少し、全体でも前年同月比18.9%減と2ヶ月連続で前年を下回った。受注件数は同4.0%減と5ヶ月連続の減少となった。新設住宅着工戸数は、貸家（前年同月比82.9%増）が増加したものの、分譲住宅（同89.5%減）と持家（同8.7%減）が減少し、総数でも再び前年を下回った。

個人消費では、百貨店売上が前年同月比4.0%減と5ヶ月連続で前年を下回り、スーパーも11ヶ月連続で減少した。ホームセンターは前年と同水準であったが、家電量販店は2ヶ月連続で前年を下回った。自動車販売は、乗用車（前年同月比9.6%減）が4ヶ月連続で減少したものの、軽自動車（同11.3%増）は3ヶ月連続で前年比プラスとなり、総数（同2.8%増）でも4ヶ月ぶりに前年を上回った。

企業倒産件数4件（同100.0%増）、負債総額10億48百万円（同2.2倍）とともに前年を上回った。

雇用情勢は、新規求職者数は3ヶ月連続で前年比マイナスとなり、新規求人数も6ヶ月ぶりにマイナスとなった。新規求人倍率は1.17倍（前月1.13倍）で前月比0.04ポイント上回った。有効求人倍率は0.78倍（前月0.78倍）と前月と同水準であったが、100ヶ月連続で1.0倍を割り込んだ。

鳥取市の消費者物価指数は98.0で、前月比で0.3ポイント下回ったが、前年同月比では0.5ポイント上回り2ヶ月連続で前年を上回った。

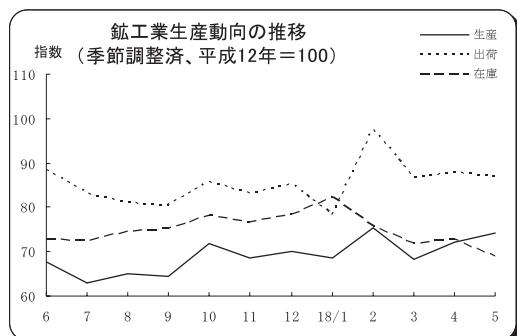
生産

【鉱工業生産動向】

5月の鉱工業生産動向では、季節調整済の生産指数は、輸送機械や金属製品などが低下したものの、一般機械やパルプ・紙・紙加工品、電気機械などは上昇し、前月比2.9%上昇の74.2となった。出荷指數は、電気機械や一般機械などが上昇したが、食料品・たばこや輸送機械などが低下し、同1.3%低下の86.8となった。在庫指數も、パルプ・紙・紙加工品や木材・木製品などが上昇したが、電気機械や食料品・たばこなどが低下し、同5.4%上昇の68.8となった。

原指數（前年比）では、生産指數は、輸送機械や金属製品などは低下したが、一般機械や電気機械などが上昇し、前年比12.8%上昇の70.4となり3ヶ月ぶりに前年を上回った。出荷指數は、食料品・たばこや金属製品など

は低下したが、一般機械や電気機械などが上昇し、同1.1%上昇の83.0となり3ヶ月ぶりに前年を上回った。在庫指數は、パルプ・紙・紙加工品や食料品・たばこなどが上昇したが、一般機械や電気機械、金属製品などで低下し、同6.2%低下の69.0と4ヶ月連続で前年を下回った。



指 数	鳥取県業種別鉱工業生産指數 (平成12年=100、前月比・指數は季節調整済、前年比原指數)												全 国 鉱 工 業 生 産 12年=100	
	鉱 工 業		鉄 鋼	金 属 製 品	一 般 機 械	電 気 機 械	窯 土 石	パ ル プ 紙・紙 加 工 品	織 綿	食 料 品 タバコ	輸 送 機 械	木 材 ・ 木 製 品		
	ウエイト	ウエイト	10,000.0	114.6	388.2	823.8	4,802.6	448.3	542.3	612.6	1,580.9	113.5	212.4	
指 数	前月比													
14 年	75.0	—	▲ 3.5	7.7	▲ 8.2	▲ 50.0	7.9	▲ 4.9	4.8	▲ 18.7	▲ 6.3	4.1	▲ 0.1	▲ 1.3
15 年	76.5	—	2.0	10.9	3.9	29.1	5.2	▲ 11.3	▲ 8.5	▲ 12.8	▲ 3.2	13.2	▲ 0.9	3.3
16 年	83.1	—	8.7	7.0	7.2	30.0	12.5	2.3	9.6	▲ 11.2	5.3	5.8	▲ 10.9	5.5
17 年	69.5	—	▲ 16.4	▲ 8.1	▲ 8.3	▲ 34.0	▲ 29.1	▲ 9.5	0.4	▲ 5.2	3.8	2.6	▲ 4.9	1.1
17. 5	66.9	▲ 9.2	▲ 23.2	▲ 23.0	▲ 5.6	▲ 45.4	▲ 39.2	1.6	▲ 3.2	▲ 6.5	3.7	▲ 8.5	▲ 11.8	1.3
6	67.6	1.0	▲ 20.5	▲ 12.0	▲ 19.8	▲ 48.3	▲ 34.6	▲ 4.6	▲ 2.1	▲ 7.2	5.9	▲ 29.4	1.1	▲ 0.2
7	63.0	▲ 6.8	▲ 25.2	▲ 13.8	▲ 7.6	▲ 37.4	▲ 45.2	▲ 10.1	▲ 0.7	3.6	▲ 4.9	13.5	▲ 3.1	▲ 2.6
8	65.0	3.2	▲ 19.2	▲ 3.8	▲ 4.4	▲ 39.5	▲ 38.7	2.0	▲ 4.3	▲ 2.9	9.2	64.2	▲ 9.9	1.4
9	64.3	▲ 1.1	▲ 21.4	▲ 8.6	▲ 6.6	▲ 26.7	▲ 38.9	▲ 5.4	1.3	▲ 8.6	3.3	5.4	▲ 2.7	0.9
10	71.9	11.8	▲ 9.4	▲ 12.6	▲ 9.2	▲ 6.6	▲ 18.9	▲ 5.7	▲ 2.2	▲ 2.9	3.2	▲ 24.9	0.8	2.1
11	68.7	▲ 4.5	▲ 12.1	▲ 6.4	▲ 6.4	▲ 4.5	▲ 21.2	▲ 8.4	▲ 3.2	▲ 1.1	▲ 0.5	▲ 24.5	▲ 11.5	3.4
12	70.2	2.2	▲ 21.2	7.9	▲ 27.6	▲ 31.7	▲ 32.1	▲ 13.8	2.2	▲ 10.1	▲ 9.6	▲ 3.8	▲ 5.9	3.5
18. 1	68.6	▲ 2.3	▲ 10.8	6.3	▲ 10.8	▲ 28.1	▲ 15.2	21.3	2.4	▲ 1.9	▲ 12.2	▲ 21.3	8.4	2.7
2	75.4	9.9	3.8	16.4	▲ 19.6	7.6	14.0	20.8	1.0	2.9	▲ 14.2	5.2	12.4	3.9
3	68.4	▲ 9.3	▲ 7.8	8.2	▲ 6.4	▲ 26.2	▲ 5.9	▲ 3.2	▲ 2.6	4.1	▲ 14.9	▲ 13.1	11.5	3.1
4	72.1	5.4	▲ 2.8	1.3	▲ 12.3	6.3	▲ 2.8	▲ 3.3	3.0	9.8	▲ 7.2	▲ 27.8	16.4	3.6
p5	74.2	2.9	12.8	28.3	▲ 14.9	65.9	25.8	▲ 8.2	5.1	8.5	▲ 2.0	▲ 26.1	18.3	3.9
18年5月の指數(季調済)	74.2	—	—	118.4	73.2	62.6	66.5	64.5	99.4	56.2	93.1	97.0	88.4	103.7

※pは速報値、rは修正値

※平成17年5月以降及び17年年間の数値は、年間補正後数値に訂正。

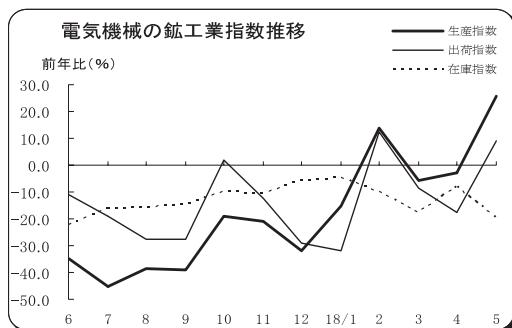
生産

【電気機械】前年比で3ヶ月ぶりに上昇

電気機械の生産指数（原指数、5月）は、前年同月比で、電気機械工業（前年同月比1.6%減）は低下したが、情報通信機械（同77.2%増）と電子部品・デバイス（同17.5%増）が上昇し、25.8%上昇し64.3となった。

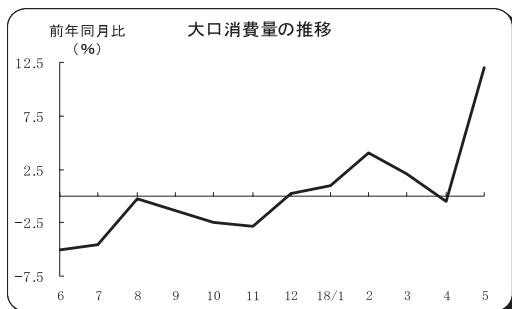
出荷指數（原指數）は電子部品・デバイス（同20.4%減）が低下したが、情報通信機械（同63.4%増）と電気機械工業（同13.4%増）が上昇し、同9.1%上昇の91.3となった。

在庫指數（原指數）は電子部品・デバイス（同28.9%減）と電気機械工業（同11.5%減）、情報通信機械（同7.4%減）がともに低下し、同20.2%減の43.4と低下した。



【大口電力消費量】2ヶ月ぶりに減少

6月の大口電力使用量は、主力の機械（前年同月比3.1%増）や鉄鋼（同22.6%増）などが前年比プラスとなったが、パルプ・紙（同64.5%減）が大幅に減少し、全体でも同2.3%減と再び前年を下回った。



【水産加工・食品】漁獲量・漁獲金額は再び減少

境港の6月の漁獲量は、引続き海水温が例年に比べ低かったことから、主力のアジが大幅に減少し、6,037トン（前年同月比33.6%減）と再び減少に転じた。漁獲金額も17億69百万円（同7.3%減）と2ヶ月ぶりに前年を下回った。

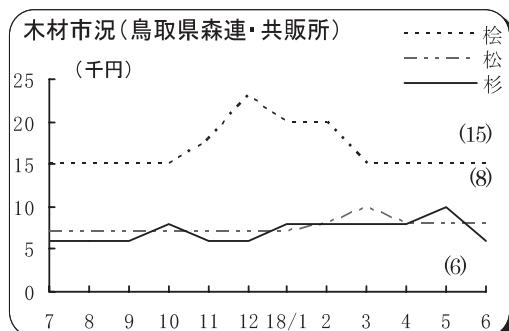
水揚げを魚種別にみると、マイワシ513トン（同50.3倍）やうるめイワシ134トン（同94.2%増）などは増加したが、主力のアジ2,105トン（同35.9%減）やべにずわいがに337トン（同74.1%減）などが減少した。

6月から始まったマグロ漁は、昨年が過去最高であった反動もあり、漁獲量が385トン（同63.8%減）、漁獲金額7億13百万円（同16.4%減）と減少した。

【木材】価格が弱含み

住宅建設では、持家系の木造住宅が増加傾向を示すなど、需給関係も改善の兆しが窺える。

国産素材の荷動きについて、鳥取県森林組合連合会木材共販所（鳥取）の6月の木材市の状況をみると、梅雨入りによる財の痛みを懸念し買い渋りが目立ち、全樹種とも価格は弱含みで推移した。



注 1. 各月20日の市況「中値」。

2. 価格は1立方m当たり。寸法は杉は長さ3m、末口14~16cm。桧は長さ3m、末口16~18cm。松は長さ3m、末口20~28cm。

建設

【公共工事】 請負金額は2ヶ月連続で減少

6月の県内の公共工事の受注（西日本建設業保証鳥取支店の保証取扱）は、件数が216件（前年同月比4.0%減）と5ヶ月連続で減少し、請負金額も94億84百万円（同18.9%減）と2ヶ月連続で前年を下回った。

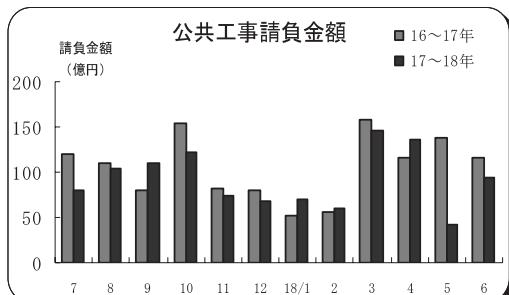
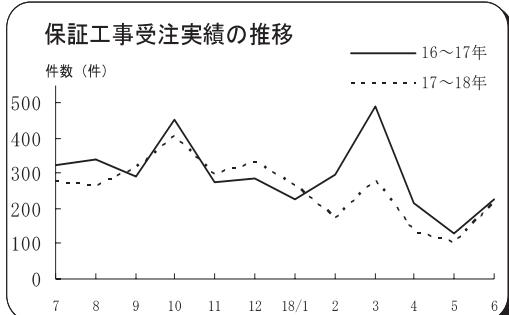
請負金額を発注者別にみると、県（同51.2%増）は増加したが、独立行政法人等（同83.4%減）や市町村（同60.3%減）、国（同6.7%減）などが減少し、全体でも2ヶ月連続で前年割れとなつた。

大型工事は、鳥取県の県立厚生病院改築等工事（倉吉市、21億72百万円）、中国地方整備局の志戸坂峠道路毛谷トンネル工事（智頭町、9億83百万円）などだった。

公共工事請負金額（平成18年4月～6月）(単位=億円、%)

発注者別	地区別		工種別		前年同期比
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	
国	67.2 ▲ 6.1	鳥取	77.2 ▲ 53.6	土木	157.8 ▲ 34.0
独立行政法人等	10.1 ▲ 87.2	八頭	30.9 ▲ 51.2	建築	61.0 90.0
鳥取県	133.5 21.8	倉吉	95.4 27.0	電気	24.7 ▲ 69.2
市町村	55.1 ▲ 42.1	米子	48.6 ▲ 7.4	管	17.8 70.8
その他	5.5 ▲ 67.3	日野	19.3 34.1	その他	10.1 4.1
合計	271.4 ▲ 27.0				

資料=西日本建設業保証鳥取支店の「公共工事動向」



【住宅着工】 総数は再び減少

6月の県内の新設住宅着工戸数は、貸家が2ヶ月連続で前年を上回ったが、分譲住宅と持家が2ヶ月連続で減少し、総数358戸（前年同月比1.4%減）と再び減少に転じた。

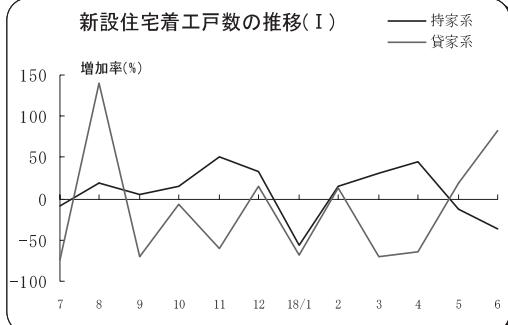
用途別では、貸家（給与住宅を含む）が192戸（同82.9%増）と2ヶ月連続で前年を上回ったものの、分譲住宅が9戸（同89.5%減）、持家も157戸（同8.7%減）とともに2ヶ月連続で減少した。

地区別（6月）では、貸家と持家が増加した米子市・倉吉市と持家が増加した境港市では総数も増加したが、鳥取市では貸家が増加したもの、分譲住宅と持家が大幅に減少し、総数でも減少した。

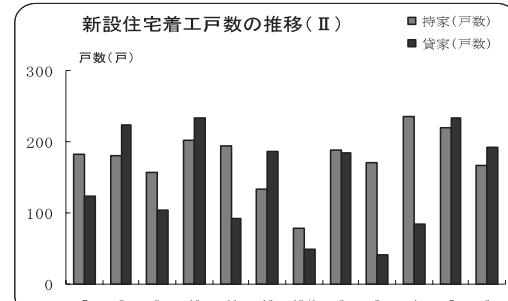
地区別新設住宅着工戸数（平成18年6月）(単位=戸、%)

	総数	前年同期比	持家	前年同期比	分譲住宅	前年同期比	貸家系	前年同期比
合計	358	▲ 1.4	157	▲ 8.7	9	▲ 89.5	192	82.9
鳥取市	141	▲ 35.0	65	▲ 23.5	4	▲ 95.1	72	44.0
米子市	115	43.8	41	2.5	3	▲ 25.0	71	97.2
倉吉市	15	66.7	9	0.0	0	—	6	—
境港市	23	15.0	10	400.0	0	—	13	▲ 27.8
郡部	64	73.0	32	▲ 11.1	2	—	30	2900.0

新設住宅着工戸数の推移(I)



新設住宅着工戸数の推移(II)



消 費

【百貨店売上】 5ヶ月連続で減少

6月の県内3百貨店の売上高は、雨が多く気温が上がらなかったことや、前年のクールビズ特需の反動で売上が伸び悩んだ影響もあり、19億31百万円（前年同月比4.0%減）と5ヶ月連続で前年を下回った。

品目別にみると、身回品（同4.6%増）は11ヵ月連続で増加し、雑貨（同1.7%増）も前年を上回ったが、主力の衣料品（同3.8%減）や食料品（同8.1%減）が減少した。家庭用品（同14.0%減）、食堂・喫茶（同7.0%減）も減少した。家庭用品は5ヶ月、食堂・喫茶は24ヶ月連続で前年割れとなつた。

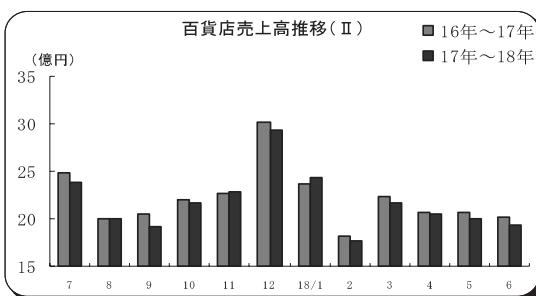
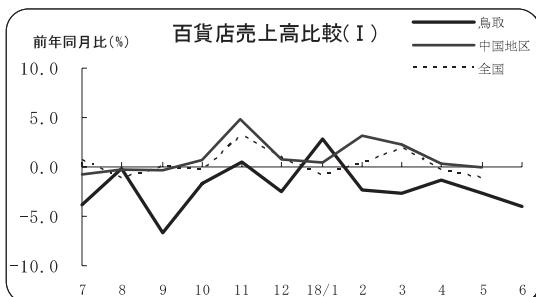
全国は前年比1.9%と3ヵ月連続、中国地区は同1.4%減と2ヶ月連続の減少。

18年1～6月期の売上高は123億61百万円となり、前年同期比1.6%減と9年連続の減少となつた。

百貨店売上高
(単位=百万円、%)

	18年6月	前年同月比
合計	1,931	▲ 4.0
衣料品	842	▲ 3.8
身回品	143	4.6
雑貨	312	1.7
家庭用品	138	▲ 14.0
食料品	404	▲ 8.1
食堂・喫茶	68	▲ 7.0
サービス他	24	21.2

注：単位未満四捨五入



【自動車販売】 4ヶ月ぶりに増加

6月の新車販売台数（軽自動車を含む）は、乗用車が4ヶ月連続で減少したが、軽自動車が3ヶ月連続で増加し、合計でも2,569台（前年同月比2.8%増）と4ヶ月ぶりに前年を上回った。

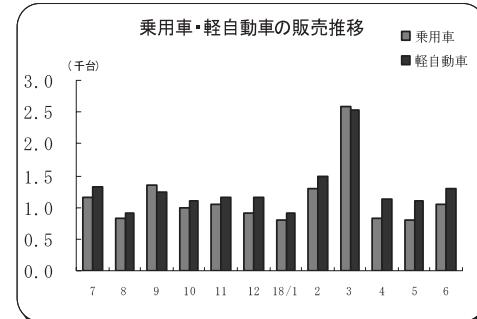
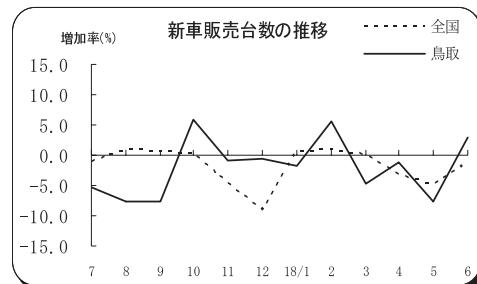
車種別にみると、乗用車は1,045台（同9.6%減）と4ヶ月連続で減少した。内訳は、普通車（排気量2000cc超）が353台（同9.9%減）と4ヶ月連続で減少し、小型車も692台（同9.4%減）と4ヶ月連続で前年を下回った。貨物車等は216台（同30.9%増）と6ヶ月ぶりに増加に転じた。軽自動車は1,307台（同11.3%増）と3ヶ月連続で増加した。中古車は468台（同0.4%増）と3ヶ月ぶりに前年を上回った。

18年1～6月期は総数で16,800台と前年同期比1.6%減と6年連続で減少した。

自動車販売台数
(単位=台、%)

	18年6月	前年同月比
新車合計	2,569	2.8
乗用車	1,045	▲ 9.6
普通車	353	▲ 9.9
小型車	692	▲ 9.4
貨物車等	216	30.9
バス	1	▲ 80.0
軽自動車	1,307	11.3
中古登録車	468	0.4

資料：鳥取県自動車販売店協会



雇用

～新規求人倍率が上昇～

6月の県内の職業紹介状況をみると、新規求人数は前年同月比で6ヶ月ぶりに減少し、新規求職者数も3ヶ月連続で減少した。新規求人数は3,696人（前年同月比5.7%減）、新規求職者数は3,398人（同5.3%減）だった。

新規求人倍率（季節調整値）は1.17倍で、前月（1.13倍）より0.04ポイント上昇した。

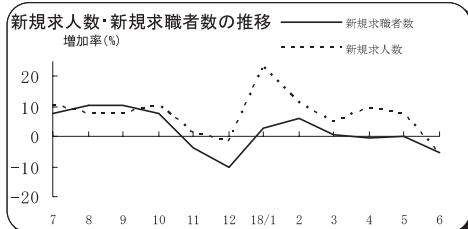
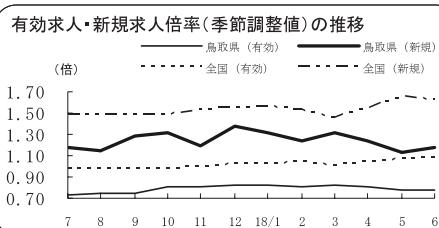
有効求人倍率（季節調整値）も0.78倍で、前月（0.78倍）と同水準であったが、100ヶ月連続で1.0倍を割り込んでいる。

新規求人数の一般は2,337人（前年同月比8.6%減）であり、業種別では情報通信業42人（同76.1%減）や電気機械器具製造業133人（同23.1%減）などの業種で減少した。

パートの新規求人数は1,359人（同0.8%減）でほぼ前年並みの水準であった。業種別では飲食店・宿泊業378人（同26.0%増）などで増加し、卸・小売業261人（同17.9%減）などで減少した。

雇用保険の資格喪失者（離職者）は2,508人（同5.3%増）で、うち事業主の都合による解雇は439人（同48.3%増）だった。

雇用保険の受給者実人員は3,959人（同7.8%減）と4ヶ月連続で前年を下回った。



企業倒産

～負債総額の増加が続く～

6月の県内企業の倒産（東京商工リサーチ鳥取・米子支店調べ、負債総額1千万円以上）は、件数が4件（前年同月比100.0%増）、負債総額は1,048百万円（同217.6%増）となり、4ヶ月連続で前年を上回った。

前月との比較では、件数は2件（前月比20.0%減）減少し、負債総額も1,503百万円（同58.9%減）減少した。業種別では建設業、製造業が各2件で、原因是、既往のシワ寄せ2件、販売不振による業績の低迷、放漫経営が各1件だった。地区別では東部地区2件、中・西部地区が各1件だった。

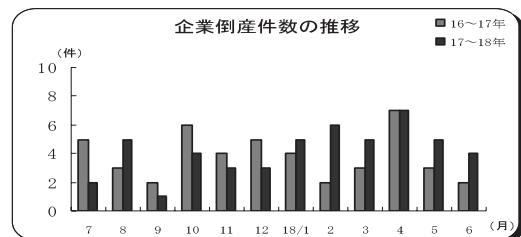
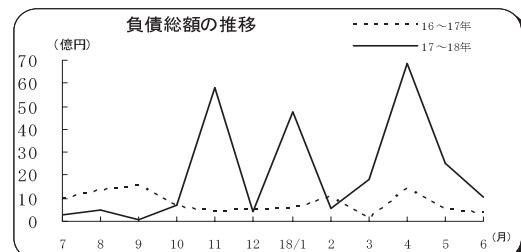
6月の主な企業倒産

(金額単位=百万円)

業種	所在地	負債額	倒産原因
碎石製造販売	八頭郡	765	放漫経営
建設業	倉吉市	150	既往のシワ寄せ
製造業	米子市	80	販売不振
建設業	鳥取市	53	既往のシワ寄せ

資料=㈱東京商工リサーチ鳥取・米子支店

平成18年上半期では、件数が32件（前年同期比52.4%増）と11件増加し、負債総額17,575百万円（同338.4%増）と13,566百万円増加しており厳しい状況が続いている。





クレジットカードの平均保有枚数は2.94枚

～クレジットカードに関するアンケート調査結果～

調査結果によると、鳥取県内の勤労者のクレジットカードの保有率は9割を超え、1人当たりの平均保有枚数は2.94枚となった。

カード保有者のうち代金等決済にクレジットカードを頻繁に利用しているは3割程度で、「ガソリン代支払」が最も多く利用されている。

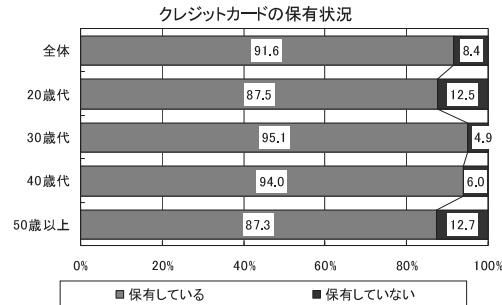
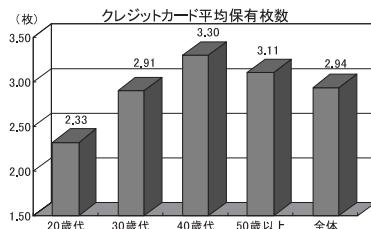
1. アンケート調査の概要

鳥取県内の勤労世帯の方を対象に、5月上旬から中旬にかけてアンケート調査を行った(夏のボーナスアンケート調査と同時に実施)。調査は鳥取銀行各支店を通じ1,000人に依頼、559人から回答を頂いた。

2. クレジットカードの保有状況

鳥取県内のサラリーマン等の勤労者のクレジットカードの平均保有枚数は、1人当たり2.94枚となった。年代別では「40歳代」の平均保有枚数が最も多く3.30枚、次いで「50歳以上」、「30歳代」、「20歳代」と続いている。

また、クレジットカードの保有者は全体の91.6%で、10人に9人以上がクレジットカードを保有している。

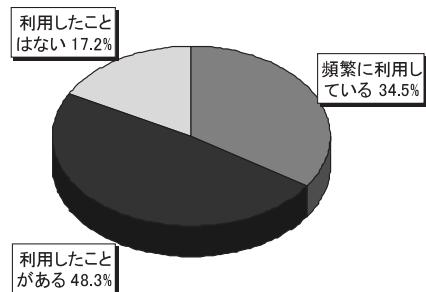


3. クレジットカードの利用状況

クレジットカードの利用状況については、「頻繁に利用している」が34.5%、「(頻繁ではないが) 利用したことがある」が48.3%、「利用したことない」が17.2%となっている。

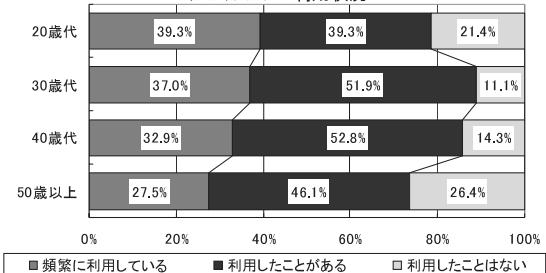
回答者の9割超がクレジットカードを保有していたが、実際頻繁に利用しているのは、そのうち3割程度で、約半数は時々利用する程度となっている。

クレジットカードの利用状況(全体)



年代別に最も「頻繁に利用している」割合が高いのは、「20歳代」で、「30歳代」、「40歳代」、「50歳以上」と続き、若い年代ほどクレジットカードを頻繁に利用する方が多いようである。

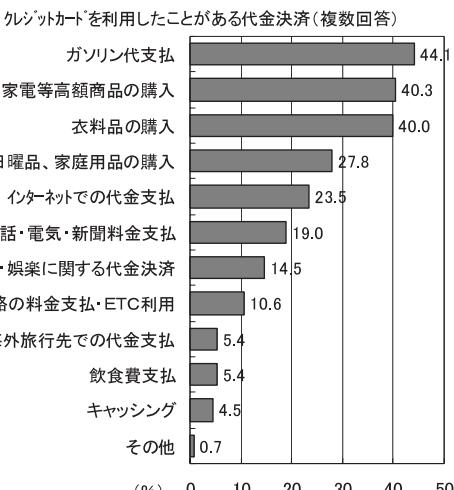
クレジットカードの利用状況



4. 利用したことがある代金決済

クレジットカードを利用したことがある代金の決済については（複数回答）、「ガソリン代支払」が最も多く、全体の44.1%で利用経験があると回答した。次に「家電等高額商品の購入」が40.3%、「衣料品の購入」が40.0%、「日用品・家庭用品の購入」が27.8%、「インターネットでの代金支払」が23.5%と続いた。

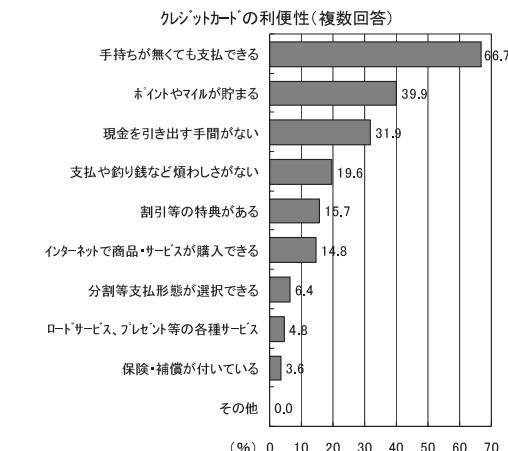
各年代別にみると「ガソリン代支払」、「家電等高額商品の購入」、「衣料品の購入」がほとんどの年代で上位3項目となっているが、唯一20歳代では「インターネットでの代金支払」が3番目に多い回答となっている。



5. クレジットカードの利便性

クレジットカードの利便性については（複数回答）、「手持ちが無くても支払できる」が最も多く66.7%となった。次に「ポイントやマイルが貯まる」が39.9%、「現金を引き出す手間がない」が31.9%、「支払や釣り銭など煩わしさがない」が19.6%、「割引等の特典がある」が15.7%と続いた。

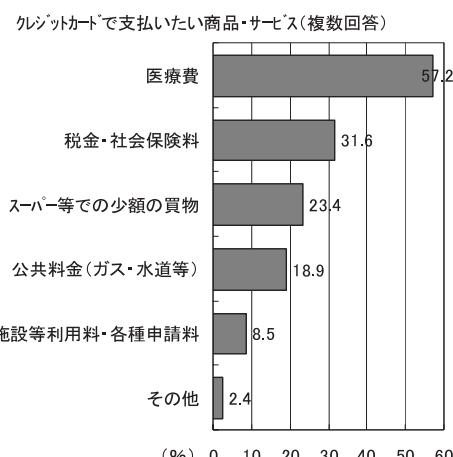
「手持ちが無くても支払できる」が、他の項目を大きく引き離して全体の6割を超える回答となっており、いざという時に支払いできることや普段から現金を多めに持っておく必要がないことがクレジットカードの最大のメリットとして捉えられているようである。



6. クレジットカードで支払いたい商品・サービス

クレジットカードで支払うことができたら良いと思う商品・サービスについては（複数回答）、「医療費」が最も多く、57.2%となった。次に「税金・社会保険料」が31.6%、「スーパー等での少額の買物」が23.4%、「公共料金（ガス・水道等）」が18.9%、「公営施設等利用料・各種申請料」が8.5%と続いている。

最も多い回答となった「医療費」については、カードでの支払が可能な医療機関が、最近県内でも徐々に増えてきているが、まだ限られている。また医療費については、金額が事前に把握しにくいこともあり、回答者の半数以上がクレジットカードで医療費を支払うことができたら良いと回答していると考えられる。



国 内 経 済 指 標

	実質国内総生産(季調済)	機械受注額(船舶・電力を除く民間需)	建設工事受注(50社)	所定外労働時間(製造業)	全百貨店販売額	貿易通関額		外國為替相場 米ドル直物終値	公定歩合		長期プライムレート	
						輸出	輸入		実施日	利率	実施日	利率
年度比 前期比	前年比	前年比	前年比	前年比		億円	円/ドル	年月日	年%	年月日	年%	
14 年	1.1	▲ 3.7	▲ 8.8	4.2	▲ 2.1	521,090	422,275	119.35	1.10.11	3.75	16.12.10	1.55
15 年	2.3	8.2	0.1	10.4	▲ 2.6	545,484	443,620	106.97	1.12.25	4.25	17. 3.10	1.65
16 年	1.7	6.5	8.3	7.5	▲ 2.8	r611,700	492,166	103.78	2. 3.20	5.25	17. 4. 8	1.55
17 年	p 3.0	5.6	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 0.5	p656,565	p569,494	117.18	2. 8.30	6.00	17. 5.10	1.50
6		5.4	▲ 5.2	▲ 1.1	0.7	54,782	46,199	110.37	3. 7. 1	5.50	17. 6.10	1.45
7		10.0	20.8	▲ 0.5	0.6	55,368	46,748	112.18	3.11.14	5.00	17. 8.10	1.60
8	(7-9)	13.4	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 1.1	52,200	51,174	111.42	3.12.30	4.50	17. 9. 9	1.55
9	r 0.2	4.8	0.6	▲ 1.6	0.0	59,271	49,785	113.28	4. 4. 1	3.75	17.10.12	1.80
10		8.5	0.6	0.5	▲ 0.4	59,106	50,927	115.67	4. 7.27	3.25	17.11.10	1.90
11	(10-12)	0.2	▲ 5.2	1.6	3.1	59,136	53,192	119.46	5. 2. 4	2.50	17.12. 9	1.85
12	1.1	15.5	13.2	3.4	0.9	63,371	54,288	117.48	5. 9.21	1.75	18. 1.11	1.80
18. 1		9.8	▲ 21.5	3.6	▲ 0.9	50,083	53,619	117.18	7. 4.14	1.00	18. 2.10	2.00
2	(1-3)	8.2	27.4	4.5	0.3	58,495	49,027	116.35	7. 9. 8	0.50	18. 3.10	2.10
3	r 0.7	▲ 1.6	▲ 15.7	4.5	1.8	68,155	58,471	117.47	13. 2.13	0.35	18. 4.11	2.45
4		12.2	2.7	5.0	▲ 0.4	61,289	54,791	114.32	13. 3. 1	0.25	18. 5.10	2.50
5	p 0.2	15.8	▲ 0.2	r 5.5	▲ 1.1	57,037	r 53,227	111.85	13. 9.19	0.10	18. 6. 9	2.45
6			3.5	p 2.8	▲ 1.9	p 62,700	p 54,636	114.66	18. 7.14	0.40	18. 7.11	2.65
調査機関	内閣府	国土交通省	厚生労働省	経済産業省	財務省			日本銀行		みずほコーポレート銀行		

pは速報値、rは修正値

鳥取県経済指標(1)

	推計人口 (注1)	推計世帯数 (注1)	景気動向指数			電力消費量			公共工事保証実績			
			先行指	一致指	遅行指	総数	前年比	大口電力	前年比	件数	請負金額	前年比
単位	人	世帯	% %			百万kwh	%	百万kwh	%	件	百万円	%
14 年	612,594	206,473				3,616.4	1.4	832.7	4.0	4,198	179,034	▲15.5
15 年	611,073	207,878	*	*	*	3,641.3	0.7	860.9	3.4	3,903	147,144	▲17.8
16 年	609,858	210,259				3,800.1	4.4	922.7	7.2	3,337	127,179	▲13.6
17 年	607,271	211,934				3,858.7	1.5	919.4	▲0.4	3,461	119,352	▲ 6.2
6	607,571	211,351	25.0	50.0	16.7	276.4	▲ 2.7	76.4	▲ 5.0	225	11,692	▲ 1.5
7	607,475	211,508	37.5	37.5	50.0	323.5	▲ 1.9	84.1	▲ 4.5	276	7,942	▲33.6
8	607,279	211,612	75.0	37.5	33.3	353.0	▲ 5.9	84.6	▲ 0.2	263	10,401	▲ 5.5
9	607,383	211,784	37.5	31.3	50.0	361.7	3.9	82.0	▲ 1.4	315	11,028	7.9
10	607,271	211,934	75.0	75.0	50.0	311.1	1.3	77.9	▲ 2.5	404	12,214	▲21.1
11	607,207	212,188	62.5	62.5	66.7	296.1	1.2	74.0	▲ 2.8	297	7,323	▲11.1
12	607,046	212,420	87.5	75.0	83.3	322.2	7.7	76.2	0.2	327	6,722	▲16.1
18. 1	606,890	212,505	56.3	100.0	83.3	375.4	9.3	74.1	1.0	263	7,014	37.0
2	606,569	212,579	37.5	75.0	58.3	349.6	3.5	72.9	4.0	172	6,064	6.5
3	606,277	212,713	50.0	43.8	75.0	328.7	0.3	78.0	2.1	282	14,530	▲ 7.8
4	603,936	211,849	75.0	37.5	20.0	330.5	1.7	73.7	▲ 0.5	136	13,507	15.6
5	604,814	213,369	62.5	37.5	80.0	294.2	4.8	78.6	12.0	101	4,146	▲69.9
6	604,654	213,922				282.1	2.1	74.6	▲ 2.3	216	9,484	▲18.9
調査機関	鳥取県統計課					中国電力(株)鳥取支店				西日本建設業保証(株)		

注1：年別は10月1日現在、月別は1日現在。

*鉱工業生産指数の年間補正に伴い遡及改定を実施。

鳥取県経済指標(2)

	出荷指數 (注1)	在庫指數 (注1)	新設住宅着工					百貨店売上高		スーパー売上高 (注2)		
			総数	前年比	持家 (分譲を含む)	前年比	貸家 (賃貸を含む)	前年比	県内3 百貨店	前年比	県内14社	前年比 (既存店)
単位	前年比		戸	%	戸	%	戸	%	百万円	%	百万円	%
14年	▲ 3.6	▲ 17.0	4,798	▲ 14.7	2,199	▲ 14.0	2,599	▲ 15.4	29,960	▲ 1.8	45,152	▲ 2.4
15年	1.4	▲ 0.9	4,581	▲ 4.5	1,988	▲ 9.6	2,593	▲ 0.2	28,467	▲ 5.0	40,356	▲ 3.5
16年	13.5	0.5	4,760	3.9	1,894	▲ 4.7	2,866	10.5	26,930	▲ 5.4	41,314	▲ 5.0
17年	▲ 6.4	2.4	4,168	▲ 12.4	2,193	15.8	1,975	▲ 31.1	26,246	▲ 2.5	42,939	▲ 3.5
6	▲ 8.3	▲ 3.9	363	▲ 45.4	258	38.7	105	▲ 78.1	2,012	3.2	3,451	▲ 3.8
7	▲ 13.4	2.5	307	▲ 54.9	183	▲ 9.0	124	▲ 74.1	2,388	▲ 3.9	3,661	0.1
8	▲ 14.5	2.2	405	66.0	181	19.9	224	140.9	2,002	▲ 0.1	3,845	▲ 4.8
9	▲ 15.2	3.2	260	▲ 47.6	157	5.4	103	▲ 70.3	1,919	▲ 6.7	3,401	▲ 0.6
10	0.6	6.0	435	2.4	201	14.9	234	▲ 6.4	2,162	▲ 1.6	3,412	▲ 1.7
11	▲ 8.3	2.2	287	▲ 20.7	195	51.2	92	▲ 60.5	2,284	0.5	3,292	▲ 1.6
12	▲ 18.8	3.2	320	21.7	134	21.7	186	14.8	2,934	▲ 2.5	3,813	▲ 4.5
18. 1	▲ 20.9	2.5	128	▲ 61.9	78	▲ 55.7	50	▲ 68.8	2,430	2.9	3,926	▲ 9.0
2	5.1	▲ 0.8	373	14.1	188	14.6	185	13.5	1,774	▲ 2.3	2,996	▲ 4.1
3	▲ 7.3	▲ 8.8	212	▲ 22.3	170	30.8	42	▲ 70.6	2,173	▲ 2.7	2,962	▲ 0.9
4	▲ 15.6	▲ 1.4	321	▲ 21.3	236	43.9	85	▲ 65.2	2,044	▲ 1.3	3,369	▲ 3.5
5	1.1	▲ 6.2	453	1.3	219	▲ 12.4	234	18.8	2,008	▲ 2.7	3,305	▲ 0.1
6			358	▲ 1.4	166	▲ 35.7	192	82.9	1,931	▲ 4.0	p▲ 1.3	
調査機関	鳥取県統計課		国土交通省					当行	鳥取県統計課			

注1：鳥取県鉱工業指標

注2：スーパー売上高のp(速報値)は中国経済産業局調べ

鳥取県経済指標(3)

	新車販売			中古車販売		消費者物価指数		求人倍率		常用雇用指数		
	乗用車	前年比	軽自動車	前年比	新規登録	前年比	鳥取市	前年比	新規	有効	事業所規模 (30人以上)	前年比
単位	台	%	台	%	台	%	12年=100	%	倍(季節調整済)	12年=100	%	
14年	15,717	▲ 0.6	17,792	▲ 2.0	5,499	▲ 3.4	99.0	▲ 0.8	1.16	0.60	94.9	▲ 6.0
15年	15,100	▲ 3.9	15,601	▲ 12.3	5,160	▲ 6.2	98.5	▲ 0.5	1.17	0.68	94.9	0.0
16年	14,659	▲ 2.9	15,411	▲ 1.2	5,157	▲ 0.1	98.3	▲ 0.2	1.25	0.80	95.9	1.1
17年	14,163	▲ 3.4	15,013	▲ 2.6	5,048	▲ 2.1	97.9	▲ 0.4	1.20	0.77	95.9	0.0
6	1,156	6.2	1,174	1.6	466	0.4	97.5	▲ 0.7	1.14	0.74	98.4	0.7
7	1,160	▲ 13.8	1,320	3.7	438	▲ 7.2	97.5	▲ 0.2	1.18	0.73	97.8	4.2
8	824	▲ 10.3	895	1.7	389	16.5	97.4	▲ 0.6	1.14	0.75	98.0	0.2
9	1,352	▲ 6.0	1,241	▲ 10.3	421	▲ 3.7	97.2	▲ 1.3	1.28	0.75	97.6	▲ 1.1
10	1,003	18.7	1,104	2.8	400	8.4	98.0	▲ 1.3	1.31	0.81	97.3	▲ 1.7
11	1,036	▲ 10.3	1,161	10.3	373	▲ 3.6	97.5	▲ 1.9	1.20	0.81	98.2	▲ 0.8
12	920	▲ 13.4	1,162	10.4	364	▲ 17.1	97.6	▲ 1.0	1.37	0.82	98.5	▲ 1.1
18. 1	789	0.3	921	▲ 0.6	219	▲ 25.0	98.3	▲ 0.2	1.31	0.83	97.6	▲ 1.6
2	1,293	3.5	1,474	10.9	345	2.4	97.4	▲ 1.0	1.24	0.81	96.7	▲ 1.0
3	2,579	▲ 7.8	2,527	▲ 1.4	651	4.2	97.6	▲ 0.8	1.32	0.83	96.2	▲ 0.5
4	838	▲ 8.0	1,140	5.0	471	▲ 12.0	97.7	▲ 0.6	1.24	0.80	96.4	▲ 1.8
5	788	▲ 18.5	1,088	3.5	406	▲ 0.5	98.3	0.2	1.13	0.78	97.2	▲ 0.8
6	1,045	▲ 9.6	1,307	11.3	468	0.4	98.0	0.5	1.17	0.78		
調査機関	鳥取県自動車販売店協会					鳥取県統計課		鳥取労働局		鳥取県統計課		

鳥取県経済指標(4)

	勤労者世帯消費支出 (注1)	常用労働者1人平均月間現金給与総額 (事業所規模30人以上)		通関実績(境税関支署管内)				境港漁獲実績				
		前年比	前年比	輸出	前年比	輸入	前年比	数量	前年比	金額	前年比	
単位	円	%	円	%	百万円	%	百万円	%	トン	%	百万円	%
14年	266,332	▲14.1	302,404	▲2.8	35,952	12.1	42,056	▲4.5	100,223	0.0	18,580	2.7
15年	285,123	7.1	305,650	4.6	36,377	1.2	41,283	▲1.8	121,706	21.4	18,479	▲0.5
16年	284,216	▲0.3	325,985	0.9	42,383	16.5	47,516	15.1	115,921	▲4.8	18,506	0.2
17年	293,827	3.4	308,546	▲0.1	46,906	10.7	46,900	▲1.8	95,687	▲17.5	17,967	▲2.9
6	324,843	28.2	452,085	1.4	3,823	9.3	3,832	▲26.0	9,095	▲4.1	1,909	47.6
7	341,749	35.2	323,816	▲7.1	3,830	5.2	4,466	19.3	5,639	▲31.2	2,561	15.4
8	353,958	2.9	272,562	▲3.8	3,638	10.5	4,123	▲11.5	3,623	▲7.5	970	▲6.2
9	266,807	5.6	254,981	0.9	3,720	▲1.0	5,335	5.3	6,258	▲17.5	977	▲21.2
10	273,989	▲6.0	256,695	2.3	4,108	12.8	3,556	▲3.1	10,315	22.7	1,349	▲12.3
11	256,733	▲18.9	264,308	4.5	3,961	13.8	3,327	▲16.4	13,277	▲26.0	2,036	▲12.6
12	293,268	▲14.4	583,854	4.8	5,054	26.6	4,118	15.4	7,686	▲46.7	1,936	▲18.3
18. 1	293,502	11.3	261,565	▲3.6	3,582	4.9	4,812	21.0	8,913	29.8	1,393	17.0
2	273,669	11.7	255,184	2.0	4,533	14.0	3,938	24.5	5,072	▲9.4	1,058	▲2.1
3	336,350	16.0	256,960	0.8	4,934	26.2	3,933	9.0	2,366	▲78.0	841	▲36.0
4	334,227	20.5	263,579	0.1	4,660	18.8	4,314	18.4	7,146	▲4.0	1,192	▲20.1
5	281,852	▲16.7	255,019	0.7	4,423	21.0	4,864	29.8	9,781	8.1	1,348	15.8
6	277,915	▲18.7							6,037	▲33.6	1,769	▲7.3
調査機関	総務省統計局		鳥取県統計課		境税関支署				(社)境港水産振興協会			

注1：月平均

鳥取県経済指標(5)

	鳥取県銀行協会 会員銀行				不渡手形				企業倒産			
	預金	前年比	貸出金	前年比	枚数	前年比	金額	前年比	件数	前年比	負債総額	前年比
単位	億円	%	億円	%	枚	%	百万円	%	件	%	百万円	%
14年	18,246	1.0	11,523	▲0.4	854	▲17.8	882	▲4.9	62	▲21.5	15,064	16.5
15年	18,202	▲0.2	11,840	2.7	1,062	24.4	1,266	43.5	87	40.3	23,144	53.6
16年	18,187	▲0.1	11,509	▲2.8	627	▲41.0	676	▲46.6	59	▲32.2	14,982	▲35.3
17年	18,339	0.8	11,688	1.6	432	▲31.1	269	▲60.2	39	▲27.8	11,841	▲18.4
6	18,854	1.2	11,242	▲1.6	71	545.5	24	558.5	2	0.0	330	94.1
7	18,688	1.2	11,304	▲1.6	12	▲81.3	3	▲97.4	2	▲60.0	265	▲72.2
8	18,446	0.8	11,341	▲1.0	29	▲59.7	22	▲83.4	5	66.7	508	▲61.8
9	18,261	1.1	11,504	▲0.1	25	▲73.1	16	▲86.5	1	▲50.0	70	▲95.5
10	18,102	0.5	11,495	0.6	43	290.9	24	49.9	4	▲33.3	705	16.1
11	18,284	0.8	11,577	1.1	35	▲56.8	21	▲59.2	3	▲25.0	5,840	1258.1
12	18,339	0.8	11,688	1.6	19	▲51.3	8	▲63.2	3	▲40.0	444	▲4.5
18. 1	18,023	0.8	11,649	1.8	63	40.0	43	119.9	5	25.0	4,760	773.4
2	17,998	0.0	11,676	0.6	90	190.3	56	124.2	6	200.0	527	▲50.7
3	18,363	0.8	11,715	2.8	71	77.5	36	49.9	5	66.7	1,820	1037.5
4	18,212	0.8	11,409	3.2	30	▲43.4	31	▲52.1	7	0.0	6,869	385.8
5	18,281	▲0.8	11,459	1.1	55	89.7	29	55.6	5	66.7	2,551	420.6
6	18,655	▲1.1	11,361	1.1	19	▲73.2	12	▲51.5	4	100.0	1,048	217.6
調査機関	鳥取県銀行協会				県内(3市)手形交換所				(株)東京商工リサーチ鳥取支店			

経済日誌

'06年6月

鳥取県内

- 3日 米子空港の滑走路延長事業が着工した。国土交通省は3年の工期を見込み、08年度の供用開始を目指す。完成すれば山陰で唯一、ボーイング777級大型機が就航できる空港となる。
- 5日 米子市が分譲する米子流通業務団地に鋼材卸売業「富士鋼材」(本社、高松市)と石油類卸売業「松本石油」(本社、米子市)の進出が決まった。富士鋼材は約4,900m²に倉庫と事務所を建設し、8月操業開始予定。
- 7日 鳥取県三朝温泉の高級旅館「斎木別館」は経営建て直しのため、四方再生ファンド(本社、大阪市)と提携し、新会社に営業譲渡する方向で経営体制を整えることが分かった。旧役員は辞任し、従業員154人は全員新会社に移行する。
- 8日 「特急スーパーはくと」を運行する第3セクター鉄道の智頭急行(本社、鳥取市)は、株主総会を開き、全国の第3セクター鉄道で初めて株主配当を実施することを承認した。配当額は900万円で1株(5万円)当たり1,000円、配当率は2%とした。
- 14日 北栄町は、同町出身で人気漫画「名探偵コナン」の作者、青山剛昌氏の謎解きの世界を再現する「青山剛昌ふるさと館」(仮称)を来年3月に大栄歴史文化学習館(同町由良宿)に開設する計画を明らかにした。青山作品の常設展示場は全国初。
- 30日 鳥取銀行は、主要取引先の境港市の大手水産物仲買・製造加工の「大伸水産」の再建について、整理回収機構(RCC)の企業再生スキームを活用した事業再生計画を発表した。29日に設立した受け皿会社「大新」に事業を引き継ぎ、従業員47人の雇用は維持する。RCC活用の企業再生は山陰地方では始めて。

国内・海外

- 1日 新光総合研究所が発表した東京証券取引所一部上場企業の06年3月期決算の最終集計によると、経常利益は前期比11.3%増の30兆9千億円で、4年連続の2桁増益だった。
- 7日 証券取引法を抜本改正する金融商品取引法が参議院本会議で可決、成立した。施行は来年夏の見通し。ライブドアや村上ファンドの証取法違反事件を踏まえ、違法取引の罰則を強化した。
- 9日 内閣府が発表した4月の機械受注統計は、国内設備投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」が前月比10.8%増と2ヶ月ぶりに増加。受注額は1兆1,404億円と00年8月以来の高水準となつた。
- 12日 日本銀行が発表した5月の国内企業物価指数(00年=100)は100.6で前年比3.3%上昇した。原油や銅など非鉄金属の価格高騰に伴い、第2次石油危機の末期である81年以来、25年2ヶ月ぶりの高い伸び率となった。指数の絶対水準が100台に乗ったのは5年9ヶ月ぶり。
- 20日 政府は「少子化社会対策会議」を開き、児童手当への乳幼児(0~2歳)加算導入や出産育児一時金の支払方法改善、企業の子育て支援行動計画の公表義務付けの検討などを柱とした新たな少子化対策を決定した。
- 28日 日本郵政公社は、郵便局の集配業務を行っている全国4,696の集配局の再編計画を発表した。集配局のうち1,048局で集配業務を廃止し年間約100億円のコスト削減を目指す。
- 30日 総務省が05年国勢調査の抽出速報を発表。日本の総人口に占める65歳以上の高齢者人口割合が世界最高となり、15歳未満の年少人口の割合も最も低く、少子・高齢化が進行していることを裏付けた。